

# 連携医院のご紹介

今回は、地域の住民を長年支え続けられている「住谷内科・消化器内科・リハビリテーション科」の住谷彰夫院長です。



住谷院長

## 医療法人 住谷内科・消化器内科・ リハビリテーション科

〒734-0007  
広島市南区皆実町4-8-8  
電話/082-251-2596  
院長/住谷 彰夫  
診療科目/内科・胃腸科・循環器科・  
リハビリテーション科



○いつ開業されましたか。  
父が昭和31年にこの地に開業し、昭和51年に継承しました。学生のころから継承することは当然と思い、宿命だと感じていました。

○開業されてから今までのことを教えてください。

この界限は、広大移転前には学生の一人暮らしが多かったですが、今では長年診せていただいている一人暮らしの高齢者が増えました。父の開業後からだ約60年診療していますから、親子2~3世代にわたり診させて頂いている人もいます。

○毎日の診療で大切にされていることは何ですか。

後期高齢者の人が増え、救急対応が必要な脳疾患や循環器疾患が多くなってきました。このため一人暮らしの高齢者は夜間に不安を感じられるようです。早め入院病床のある県病院に紹介し、検査をして県病院と病状を共有し連携をすることで、患者さんも家族も安心されます。高齢者は、早め早めに、救急時の事を考えておくことが大切です。

○リハビリに力を入れておられる理由は？

若い頃、整形外科のある病院に勤めた経験があり、職場の先輩から、これから迎える高齢化社会では内科の診療においてもリハビリが大切になることを教わったことがきっかけです。患者さんからの要望が高いので当院でできることは続けています。もっとも、本格的な整形疾患であれば整形外科を紹介しています。

○県病院に一言。

大学時代の友人が県病院に多くいたので、気軽に紹介でき、今も紹介患者の大半は県病院へ紹介しています。



住谷内科・消化器内科・リハビリテーション科外観

### 【取材後記】

皆実町商店街の中にあり、町内会長も努めたご経験もあるとお聞きし、地域の皆様の医療・生活を長年支え続けられていることがわかりました。また院内にはアロマや植物が置いてあり、先生の「患者さんがリラックスできれば」と言われるやさしいお気持ち伝わってきました。

## 県立広島病院からのお知らせ

### 緩和ケア 看護師研修 基礎コース

- 開催日 平成28年 8月9日(火)・10日(水)の2日間
- 時間 9:00~16:30
- 場所 新東棟2階 総合研修室
- 申込期間 平成28年 6月28日(火)~7月12日(火) 必着
- 参加費 5,000円(資料代)
- 対象 次の要件をすべて満たす者
  - ①県内の医療機関等に勤務する保健師、助産師、看護師、准看護師
  - ②現在緩和ケアに携わっている者、又は、近い将来緩和ケアに携わりたいと希望する臨床経験年数3年以上の者
  - ③全課程(2日間)をすべて出席できる者

問合せ先 広島県緩和ケア支援センター  
緩和ケア支援室

※詳細は『広島がんネット』ホームページでご確認ください。  
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/gan-net/>

### 紹介状がない場合の選定療養費について

当院では、これまで初診時に紹介状を持参されない患者さんに対しては、保険外併用療養費制度に基づき、2,690円をいただいておりますが、この度「健康保険法」等の改正により、平成28年8月1日から次のとおり改定することになりましたので、ご理解とご協力をお願いいたします。なお、今回の改正は当院のような「大病院」と「地域のかかりつけ医」との役割分担・連携強化を進めるためのものです。

区分		現行	改定
初診	医科	2,690	5,400
	歯科	2,690	3,240
再診	医科	—	2,700
	歯科	—	1,620

※改定の金額：国が定めた最低額に消費税を乗じた額

# もみじ



県立広島病院 〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号

※県立広島病院の様々な情報をホームページへ掲載しています。  
県立広島病院で検索 (URL: <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>)



理念：県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします

## ご存知ですか? 形成外科

形成外科は、身体に生じた組織の異常や変形、欠損、あるいは見た目が気になる部分に対して、あらゆる手法や特殊な技術を駆使し、機能のみならず形態的にもより正常に、より美しくすることによって、みなさまの生活の質“Quality of Life”の向上に貢献する、外科系の専門領域です。わかりやすく言えば、体表のさまざまな病変(外傷、変形、腫瘍、潰瘍、先天奇形等)の治療を行っています。

### 症例① がんけん かすいしょう 眼瞼下垂症



施術前

まぶたが重くて開けにくくなり、視野が狭くなったことで受診されました。



施術後

### 症例② しきそせいぼはん 色素性母斑

(生まれつきのホクロ)



見た目が目立つとのことで受診されました。



できるだけきれいに、傷あとが目立たないように、治すことを心掛けています。

### このような方を診ています

- ほくろ、粉瘤、あざ、皮膚の良性・悪性腫瘍
- 顔面骨骨折、顔面や足の外傷(すり傷、切り傷)
- 乳房再建
- 床ずれ(褥瘡)、難治性潰瘍
- 熱傷(やけど)、傷跡のケロイドやひきつれ
- 耳の瘻孔・変形、でべそ、口唇裂口蓋裂、手足の先天異常
- その他(眼瞼下垂、逆さまつげ、わきが、リンパ浮腫、顔面神経麻痺後の変形、等)

どんな小さなことでもお困りのことがあればご相談ください。

## 形成外科外来

毎週火曜日・木曜日

受付時間 午前8:30~11:00



形成外科 部長  
新保 慶輔



形成外科 副部長  
奥原 裕佳子

お気軽にご利用ください!

# 地域連携センター

## 入退院支援室

患者さんが安心して治療を受けることができるよう、入院前からサポートいたします。また、退院後の療養環境など、退院に伴う患者さんやご家族の方の不安や心配事の解決に努めます。



入院サポート担当



患者さんの退院に向けた話し合いの様子 (カンファレンス)

ご相談・お問い合わせ (082) 252-6228

※お電話でのお問い合わせは、平日午前9時～午後5時までです。

## 地域連携室

医療機関や様々な保健・福祉サービス機関との連携の窓口として、患者さんが地域の中で安心して継続的に医療を受けられるよう、関係医療機関とのネットワークづくりに努めております。また、看護師や医療ソーシャルワーカーなどの相談員が患者さんをはじめ、皆さまからのご相談やご意見をお伺いしております。



医療機関への訪問



相談窓口の様子

(がん相談や医療安全相談の窓口にもなっております。)



医療機関からの受診予約を扱う病診連携担当

ご相談・お問い合わせ (082) 256-3562



## 南7病棟



レクリエーション風景

南7病棟は、精神神経科の病棟です。疾患としては統合失調症、うつ病、双極性障害、摂食障害の若年層から高齢層まで様々な患者さんが入院されています。薬物療法を中心に環境調整や生活支援を行っています。また総合病院の中にある精神神経科病棟であるため、手術や内科・外科的処置を必要とされる身体合併症を有する患者さんのチーム医療も行っています。スタッフは患者さんの権利を尊重し、倫理観を大切にし、患者さんが安心して生活できるよう寄り添い、納得ができる医療の提供に努めています。笑顔で退院を迎えられるよう他職種を含めたスタッフ間で話し合い(カンファレンス)を行い、退院支援をしています。

# 外科医の独り言 no.58

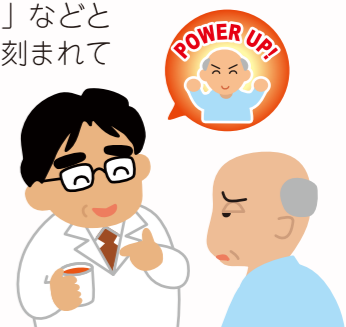
## － プラセボ効果 －

もう30年前、私が研修医の時の話です。当直の夜、あるベテランの看護師さんからの依頼で入院患者さんを診察しました。聞くと患者さんは原因不明の腹痛で入院しており、痛みが発作が出ると強い痛み止めの注射(ソセゴン)しか効かないとのことでした。診察すると確かに患者さんはお腹を抱えてうずくまり、額からは汗が出ていました。とにかく痛みを除いてあげなければと思い「ソセゴンを打ってあげてください」と新米医師の私は看護師さんに指示しました。するとその看護師さんは私の袖を引っ張って部屋の外に連れ出し「先生、今日はソセゴンを5回も注射していますよ、大丈夫ですかそんなに注射して」と忠告、そして「さっきまでピンピンしていましたよ、仮病じゃないでしょうかね」とベテラン看護師の勘を働かせました。「仮病?それはないでしょう、あんなに痛がっているのに名俳優でもあんな迫真の演技はできないですよ」と反論するもベテラン看護師の経験にはかないません。ベテラン看護師さんの提案は、ソセゴンと言って偽薬の生理食塩水を注射することでした。医師として偽薬を注射するなんてもってのほかだと思いましたが、看護師さんはすでに生理食塩水の入った注射を手を持って病室に入って行きました。結果はもの見事に看護師さんの勘が当たり、患者さんの痛みは取れて朝まで熟睡したとのことでした。しかしこれは仮病ではなくプラセボ効果だったのでしょ。

それから数日後、同じような状況に遭遇しました。前回の事が頭に残っており、痛みも何故か不自然に思われたので私の治療は「生理食塩水」でした。自信満々で患者さんに注射をしたところ患者さんはすぐに「これはソセゴンじゃない」と怒りだし、私の「偽薬投与」はすぐにバレてプラセボ効果は期待できませんでした。私はそれ以来偽薬を使ったことはありません。プラセボ効果とは、本来は薬効として効く成分のない薬(偽薬)を投与したにもかかわらず、

患者の病状が良好に向かってしまうような、治療効果を言います。そのメカニズムは完全には解明されていませんが、脳の学習効果に関係しているようです。人は思い込みの力で自然治癒力をアップさせてしまうようです。またこんな有名な研究もあります。82人の健康な人に対して手首に電気刺激を与えて痛みの程度を調べた研究です。まず電気刺激をして痛みの程度を評価してもらいます。その後、全員に偽薬を飲んでもらうのですが半分の人には「この薬は痛みには効く新薬で1錠2.5ドルします」と残りの半分の人には「少し値下げしてもらった薬です」と説明したパンフレットを渡します。そしてそれぞれ薬を飲んでもらってもう一度電気刺激をして痛みを評価しました。すると高い?偽薬を飲んだ人の85.4%は痛みが軽くなり、安い薬を飲んだ人も61%で痛みが軽くなったと評価したそうです。全部偽薬ですよ、どちらも多くの人にプラセボ効果が認められ、さらに“高い偽薬”の方が効果は大でした。“偽薬の沙汰も金次第”ということでしょうか。

薬のプラセボ効果と反対にノセボ効果というものもあります。これは偽薬を飲ませたにもかかわらず副作用が出るという現象です。たとえば「この薬を飲むと副作用として胃腸障害が出るかもしれません」といって偽薬を飲ませると本当に胃腸障害が出るという現象です。これはある意味われわれ医療従事者は気を付けなければなりません。患者さんに初対面で悪い印象を与えてしまい「あの医者は信用ならん、あの医者態度が気に入らん」などと患者さんの頭の中に刻まれてしまうと、それ以降いくら良い治療をしても症状が悪化するかもしれません。気を付けなければ...



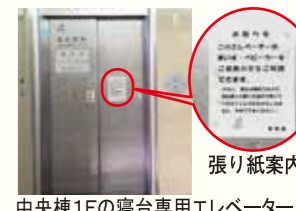
副院長(消化器・乳癌・移植外科主任部長)板本 敏行(いたもと としゆき)

## ご意見箱 寝台専用エレベーターの張り紙について

車椅子の為、これまではエレベーターを何回も待つことが多かったのですが、張り紙案内のおかげで、寝台専用を気兼ねなく利用でき、大変助かります。

## これからも皆様のご意見に対応していきます。

ご利用者の利便性を高める為、車椅子やベビーカーのご使用の方も、寝台専用エレベーターをご利用いただけるように、ご案内しています。



中央棟1Fの寝台専用エレベーター

※寝台が優先となっていますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。